



報道関係者各位

ポラリスとパナソニックがIoT・AIを活用した要介護高齢者向け 「短期滞在型自立支援サービス」を提供開始

全国で自立支援特化型の通所介護施設（以下、デイサービス）を運営する株式会社ポラリス（本社：兵庫県宝塚市、代表取締役：森剛士、以下ポラリス）とパナソニック株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役：楠見雄規、以下パナソニック）は、2021年10月1日より、要介護高齢者向けに、リーガロイヤルホテル（大阪）にて、IoT・AI技術を活用した短期滞在型の自立支援サービスを開始します。

ポラリスは創業より高齢者の要介護度の改善に取り組み、その結果7年間に2606名の方の介護度が改善され、介護保険を全く使わずに自立生活が送れるようになった方は516名にのぼります。こうした実績をもつポラリスの自立支援ノウハウと、介護施設向け介護業務支援サービス「ライフレンズ」で培ったパナソニックのIoT・AI技術を融合し、リゾート地やホテルに滞在して短期集中で効果的に要介護高齢者を元気にする新しい介護サービスを展開します。

自立支援介護プラットフォームの共創 (2018年～)



知識・経験+データに基づく介護の実践

AIによる廃用レベルの見極め/予後予測
IoTにより日々の生活実態からの客観的なアセスメント

**IoT/AIを活用した、要介護高齢者を元気にする
新しい介護サービス共同開発**
～リゾート地やホテルに滞在して短期集中で効果的に～

ポラリスおよびパナソニックは、2018年2月より自立支援介護プラットフォームの共同開発を実施し、実証してまいりました。今回、ウェアラブル機器やモバイル端末を用いて、直接対面をしなくても、リモート環境で高齢者の状態を把握できるリモートアセスメントシステムを共同開発しました。本システムは、高齢者の状態を定量的かつ迅速に、リモートでも収集ができるため、自立支援介護の高位平準化を可能にします。

本システムをポラリスのデイサービス事業拠点で検証を行い、直接対面なしで、リハビリプランを策定するためのアセスメント・予後予測を遠隔で実現できることを確認できました。検証結果に基づき、本システムを活用した新たな短期滞在型自立支援サービスをリーガロイヤルホテル（大阪）で開始します。

本サービスでは、リゾート地などに短期滞在しリラックスしながら、一人ひとりに最適な健康管理やケアプランにあわせてリハビリを行うことができます。また、コロナ禍等で自宅に閉じこもりがちな高齢者の廃用症候群*を改善することもできます。高齢者が元気になり、社会保障費の削減にも繋がります。

【本サービスの特長】

- ・リモートアセスメントシステムにより、事前にご利用者様の状態を遠隔で把握し、適切にご利用者が元気になる改善計画プランを提供します。
- ・日常の喧噪を離れた優雅な空間でリラックスしながら、お一人おひとりにとって最適な自立支援プログラムでお元気になっていただけます。
- ・これまでポラリスで培われてきたノウハウとパナソニックのIoT・AI技術を融合した本リモートアセスメントシステムを活用することで、より高位平準化された自立支援サービスの提供が可能となります。

【本サービスの流れ】

①ご自宅で普段の生活をして頂きながら、ご利用者様の健康状態等を提出

事前に送付されたリモートアセスメントキットのウェアラブル機器を、1～2週間程度の間、ご自宅で装着頂き、タブレット端末でWeb問診をご入力頂きます。

②リモート環境での、専門スタッフによるアセスメントと改善プラン作成

専門スタッフが、ご高齢者様のウェアラブル機器の情報や入力情報、オンラインヒアリングの内容をふまえ、現在の健康・廃用状況等に関する診断、予後推定を行い、改善プランを作成いたします。

③ご利用者様による改善プラン確認・滞在先でのサービス開始

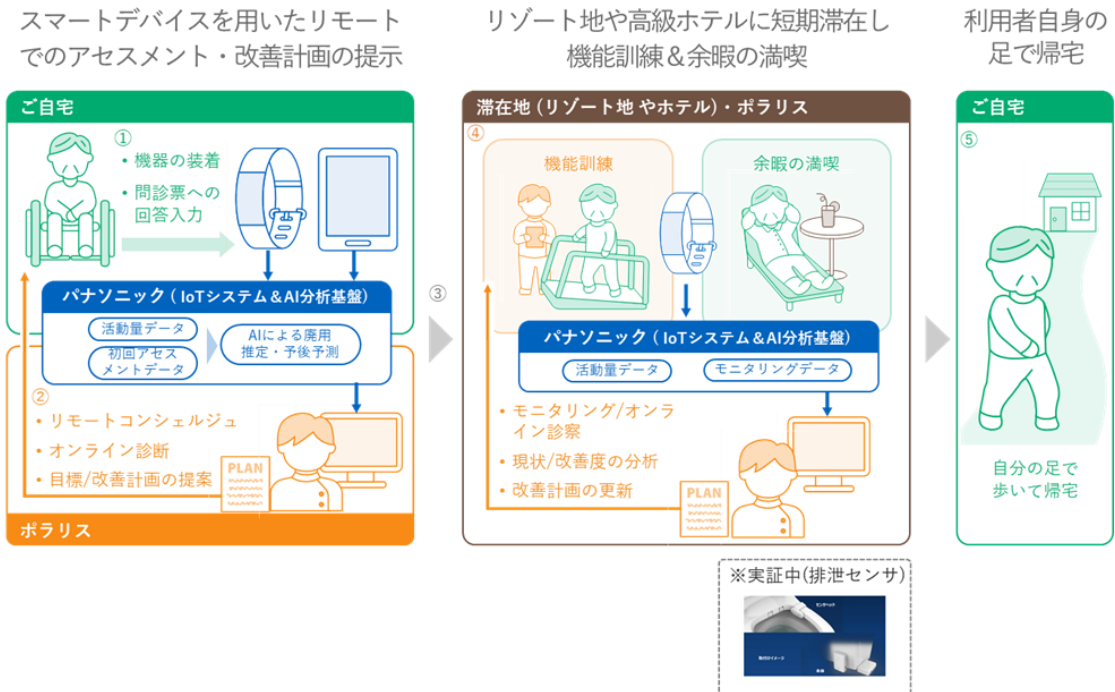
ご利用者様が改善プランを確認し、滞在先でのサービスが開始されます。

④ 専門スタッフによるリハビリ、および観光等での余暇をお過ごし

経験豊かなポラリスの介護スタッフが、それぞれの方の状況を見ながら、専門性の高いケアを提供します。プログラム開始後もウェアラブル機器等で定量的にモニタリングできるため、これまで以上に効果的なケアが可能になります。余暇のお過ごし方や食事や水分補給など、生活全般へのアドバイスもいたします。

⑤ 自立した生活

3か月の滞在で、自立した生活を目指します。



サービスの流れ

【今後の方向性】

今後、本サービスは国内外の様々なホテルやリゾート地にて展開してまいります。また、短期滞在帰宅後のコンサルジュサービスを充実させ、自宅でも自立状態を維持するためのリハビリができる仕組みを構築していきます。さらに、ポラリス自立支援ノウハウAI化においては更なるシステムアップを行い、一般普及も目指してまいります。

【各社の役割】

■ ポラリスの役割

- ・20年にわたり蓄積してきた自立支援介護ノウハウ（形式知・暗黙知）のコア部分の抽出および可視化
- ・要件定義作成とリモートアセスメントシステムへの反映
- ・自立支援介護プラットフォームを活用したご利用者様へのケア提供
- ・実運用の中でのデータやノウハウ提供によるプラットフォームのさらなる改善

■ パナソニックの役割

- ・本サービスにおける自立支援介護を支える自立支援介護プラットフォームの運用、構築
- ・自立支援介護ノウハウに基づく、リモートアセスメントシステムの運用、構築
- ・ウェアラブル機器およびリモートアセスメント結果から高齢者の廃用推定AIエンジンの構築

* 廃用症候群：過度の安静状態が続くことで心身機能が低下すること

<関連情報>

- ・（パナソニックプレスリリース）ポラリスとパナソニックとの共同で自立支援介護プラットフォーム構築に向けた実証実験を開始（2018年2月21日）

<https://news.panasonic.com/jp/press/data/2018/02/jn180221-1/jn180221-1.html>

- ・介護施設向け介護業務支援サービス「ライフレンズ」ホームページ

<https://tech.panasonic.com/jp/lifelens/>

- ・ポラリスの自立支援ノウハウとパナソニックのAI分析基盤を融合し自立支援介護プラットフォームを共創（プロジェクトホームページ）

https://tech.panasonic.com/jp/lifelens/feature/project/feature_polaris.html

- ・パナソニック株式会社

<https://panasonic.jp/>

- ・リーガロイヤル（大阪）

<https://www.rihga.co.jp/osaka>

【本サービスに関するお問い合わせ】

・パナソニック株式会社 テクノロジー本部 サービス開発担当

e-mail : sac_info@gg.jp.panasonic.com

・株式会社ポラリス 広報担当

TEL : 080-4982-7754 e-mail : kouhou@polaris.care